



発行所
 (一社)福島県電設業協会
 発行人 大槻 博太
 〒960-8114
 福島市松浪町9-6
 (福島県電設会館)
 TEL (024) 533-6226
 FAX (024) 533-6235
 E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp
 編集印刷 福島建設工業新聞社
 福島市西中央2-59

TOSHIBA
 Leading Innovation >>>

際立つ明るさ
 驚きの高効率
T.LEDs

E-CORE
 高効率LEDダウンライト「イーコア」

際立つ明るさ 265lm	驚きの高効率 50lm/W	独自の省エネ性 電圧制御VVF
-----------------	------------------	--------------------

※当社自研LEDダウンライト「イーコア」(D-7200NB (W))と40W用ミニクリップランプの組合せで「E-CORE」(高効率省エネタイプ)白色光束(LED0-44001WLS1)の仕様

東芝ライテック株式会社
<http://www.tlt.co.jp/>
 郡山営業所 TEL (024) 922-5511

謹賀新年
 本年も相変わらぬご指導
 ご支援をお願いいたします
 一般社団法人 福島県電設業協会

人材育て、強固な組織築く

新春を迎え、謹んで年うとしつつありますが、今なれらの対策をはじめ復頭のごあいさつを申し上げます。5万人余の方々が避難・再生事業の確実な進捗を。本会の事業活動 難生活を続けられており 展と加速化が求められておに。対しまして、日頃から ます。磨り・汚染水対策や いるところ。格別のご高配を賜り、改 被災者の生活再建をはじめ 当協会といたしまして めて厚く御礼申し上げます。 業の再生、風評と風も、引き続き、本県の早期 化の2つの逆風など、原 復興・再生に向けて、会員 未曽有の被害をもたら 子力災害という重荷を背 が一丸となって全力で取 した東日本大震災の発生 負った福島の復興はいま り組んでまいります。 から7年の歳月が流れよ だ途上であり、今後はこ 昨年を振り返ってみま

頌春



起き上がり小法師

魅力ある業界へ前進

信頼される技術集団目指す



一般社団法人 福島県電設業協会
 会長 大槻 博太

さうは言いましたも、 電設業は最新の知識や 様化するニーズに対し 本年も引き続き、福島 現在の震災復興需要や、 技術、長年のノウハウな て、柔軟に対応できる技 具の復興・再生と地方創 アベノミクス効果等によ が必要とされる専門性 術力の研鑽に努め、的 確 生、県民の安全・安心で快 な判断のもと迅速に必要 適な暮らしの実現に向け ます。最大限その追い風 の高い業種であり、県民 対策を講じていけるよ て、会員従業員一同、一層 を取り込み、疲弊した会 きません。日々めまぐる う、発注者との意見交換 努力して「県民に信頼さ 員各社の皆さまの体力が しく変化する諸課題や多 や現場見学会等を開催し れる技術集団」となるべ てまいります。

さらに地域の安全・安 す。関係者、会員の皆さま 心を守りながら、健全な 業推進になお一層のご支 経営を維持していくため 援、ご協力をお願い申し には、中長期的な視点か 援、ご協力をお願い申し ら構造改善を進めること 上げますとともに、皆様 も必要不可欠です。これ 方の一層の「発展」と健 まで以上に創意・工夫し、 勝を心から祈念いたしま 事業を展開してまいりた して新春のあいさつとい いと考えております。 たします。

最新技術、ニーズに対応

政府が掲げる働き方改 りました。 大変ありある懇談会とな りたいと思っております。

す、おかげ様で業界全 体においては復興工事に けん引され、繁忙状態が 続いた一年であったかと 思います。ただ、細かいと などにより、若手技術者 等の資格取得を支援し、 り、男女双方の視点から ある人材等を育成し、会 すと、労務人材の高騰、技 員内電設業界全体の技術 工事現場などの環境改善 員減少に対応できる強固 術者や若手後継者の不足 力の底上げを図ってまい 策などの意見が出され、 な組織体制を築いてまい など、建設業界とりわけ ります。

電工事業界が潜在的に 抱えていた脆弱な面が表 れた一年でもありまし た。

Panasonic

美しいLEDの光を、
 多彩なスタイルで選ぶ。

一体型LEDベースライト
iDシリーズ

Panasonic LED

器具
 ライトバー

Wonders!
 by Panasonic

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 北海道・東北電材営業部 福島電材営業所 〒963-8024 福島県郡山市朝日2丁目5番15号 TEL.024-939-7731

挑戦を続け、未来を切り拓く

福島県知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

震災から間もなく7年を迎えようとしておりま

す。県民の皆様のため

に、御努力と国内外からの温

かく力強い御支援によ

り、インフラの復旧や新

たな拠点施設の

整備進展を始

め、観光地にお

けるにぎわいの

回復など、これ

までの取組の成

果が着実に形と

なっており、ま

たごき厚く御礼を申し上

げます。

地方創生・人口減少対

策につきましては、本県

は原発事故の問題も抱え

ており、人口減少は極め

て厳しい状況にありま

す。そのため、結婚・出産

子育てに対する切れ目の

ない支援を充実させると

ともに、若者の地元定着

や首都圏等からの還流、

現に向けて、着実に取組を

進めてまいります。

県といたしましては、

引き続き直面する課題に

一つ一つ挑戦を続けなが

ら、「新生ふくしま」の実

現に向けて、着実に取組を

進めてまいります。

避難地域の復興再生に

つきましては、復興の基

盤となる交通インフラの

整備を始め、古里に帰還

された方々の生業の再生

新生ふくしま実現へ全力

県土木部長 大河原 聡



謹んで新年の御挨拶を

申し上げます。

東日本大震災からま

もなく7年を迎えようとし

ております。昨年は、復

興・創生期間の2年目で

あり、東北中央自動車道

の相馬山上IC・相馬玉

野IC間や、福島米沢間

の開通を始め、本県の復

興を支援する道路ネット

ワーク、復興公営住宅や

福島ロボットテスト

フィールドなどの福島県

の未来を創造する拠点施

設の整備が進むなど、復

興に向けた明るい光が一

層の強まりを見せてまい

りました。

命化計画に基づき、予防

保全の考え方に基ついた

計画的な維持管理を着実

に進めてまいります。

さらに、建設産業が地

域を支える活力ある産業

として、持続的に発展し

ていけるよう、昨年3月

に策定した「ふくしま建

設業振興プラン」に基づ

き、建設産業の振興に取

り組んでまいります。具

体的には昨年、スタート

した産学官の連携による

「インフラメンテナンス

技術者育成協議会」によ

るインフラの維持管理を

担う技術者育成や、生産

性向上を図るためのIC

Tを活用したモデル工事

の実施などの取り組みを

進めているところで

です。

命化計画に基づき、予防

保全の考え方に基ついた

計画的な維持管理を着実

に進めてまいります。

さらに、建設産業が地

域を支える活力ある産業

として、持続的に発展し

ていけるよう、昨年3月

に策定した「ふくしま建

設業振興プラン」に基づ

き、建設産業の振興に取

り組んでまいります。具

体的には昨年、スタート

した産学官の連携による

「インフラメンテナンス

技術者育成協議会」によ

るインフラの維持管理を

担う技術者育成や、生産

性向上を図るためのIC

Tを活用したモデル工事

の実施などの取り組みを

進めているところで

です。

感 所 頭 年

新しい年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

民間住宅への再建支援等とともに、「ふくしま新生

復興・再生の柱となる事業

県土木部建築総室事業展望

「復興・再生の柱」推進

また、「東京オリンピック

の仕上げに集中する重要

期間が経過する施設の増

大に対応するため、長寿

人と環境を明日につなぐ、ニノテックのシステムエンジニアリング

ディーゼル発電機 ガスタービン コージェネレーションシステム

岡田電気産業株式会社

三菱電機住環境システムズ株式会社

昨年11月4日、福島米アップに一役、米沢市の沢間の高速度道路が開通、人達には好評の様子であるが、福島大笹生(ふくしまおろ)の出だしは良好！高速道路(おろ)ICから米沢北ICまで35.6kmを所要時間約20分で行き来が出来る時代に突入しました。今までは普通50分、冬期間なら1時間オーバーが当たり前であった米沢市が二本松市と同じ所に引越してきたも同然！新しい万世大路の完成であります。土日は福島から物見遊山の入道が多かったです。これは暫定開通期間のみの適用であり、数押しかけ米沢市の景気

ですが、地域の関係に大きな影響を与えていくと予想されます。福島市は今年4月1日中核市に移行します。その結果、県北地方と宮城

の新たな経済圏が2県にまたがって誕生する事を意味しております。圏内では経済、観光、医療、教育、気配を感じています。つまりこの圏域に仕事、資金が投入される状況の圏域外の企業が参入するのは必定であり、我々業界においては相当厳しい状況が続くと思われま

す。これに反し、わが業界は攻めの姿勢より逆に攻められる場面が多くなり、その気配を感じています。つまりこの圏域に仕事、資金が投入される状況の圏域外の企業が参入するのは必定であり、我々業界においては相当厳しい状況が続くと思われま



福島支部長 大槻 博太

団結が試される一年

県白石市を交えて中核連、他の地域を巻き込んだ携都市圏が創出され、福島市を中心に2市(伊達、白川)3町(川俣、桑折、国見)1村(飯館)が広域連携を生かして進出した金

昨年台風続きの7月、九州北部豪雨にみられるように夏はどこへいったかと思う年でした。震災以降、建設工事の重要性が見直されており、中核市地区は建設工事が一段落し一休み感が見られました。急速に進む少子高齢化社会の中で、技術者の高齢化や若者の建設業離れが大きな問題となっており、電気設備技術者のア



郡山支部長 永井 博

若手入職者を確保

若手技術者に、ものづくりの楽しさ、充実感、満足感、達成感と喜びを味わってもらい、「夢と生き高次の電気科の生徒を受け入れたい」と思っています。

2020年に開催される第32回オリピック「競技大会」の開催に伴って、首都圏を中心に建設需要の増加が加速しており、福島県内の建設業界においても間接的な影響が予想されます。この好景気ともいえる社会情勢の中、電気設備工事業に



白河支部長 車田 昭

技術革新と業務改善

の対応が遅れる傾向があると感じています。長年にわたり育んできた技術力を損なうことなく、時代の変化に対応す

本県電設業発展へ一丸

昨年末は天皇陛下の退位日が決定され、国民は並々ならぬ対策に力を注いでいることと思いが、災害が発生すると、ほとんどがヒューマンエラーになります。



いわき支部長 小宅 武

ヒューマンエラー対策

「電柱に昇柱して外灯を取替中に、安全帯ロープのナス環をD環に掛けるため、これを無視して、我々の電気事業



相双支部長 八巻 正隆

道路が果たす役割

震災後早6年の年月が流れて、県内の道路復旧状況が高速交通化へと整備



会津支部長 佐藤 脩一

ならぬものはならぬ

平成30年は戊辰戦争より150年の年になりま

支部長 年頭あいさつ

会津の言葉で「ならぬものはならぬ」という言葉があります。安全と品質は両輪で「ならぬものはならぬを合言葉に、本年1年間、頑張りたく思います。」

年頭所感

新年明けましておめでとうございます。福島県とて、福島の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃から、建産連の目的遂行のため多大なご協力を頂いておりますことに対し、感謝申し上げます。

余の県民が県内外に避難していることを考えます。と心が痛むところであり、この避難者のため現在、浜通り方面の復旧復元が、昨年12月公表になった日銀短観によりますと、全産業の業況判断は横這い推移のよう

余の県民が県内外に避難していることを考えます。と心が痛むところであり、この避難者のため現在、浜通り方面の復旧復元が、昨年12月公表になった日銀短観によりますと、全産業の業況判断は横這い推移のよう

余の県民が県内外に避難していることを考えます。と心が痛むところであり、この避難者のため現在、浜通り方面の復旧復元が、昨年12月公表になった日銀短観によりますと、全産業の業況判断は横這い推移のよう

を確立し、魅力ある建設産業を構築するため、建産連として①適切な賃金水準の確保や労働環境の改善②女性技術者の入職促進③社会インフラの維持管理・更新分野における人材育成の取り組み④生産性の向上を図るためにもi-Constructionの推進などの働き方改革への対応や公共事業予算の安定的確保に真摯に取り組んでいくと考えております。

競争負けない魅力創出

(一社)福島県建設産業団体連合会
会長 小野 利廣



大震災から7度目の新年を迎えることになり、道路や復興公営住宅等社会資本整備の進捗状況から着実に復興の兆しが見えてきており、しかし、未だに5万人

座長を務める石川格子(東陽電気工事社長)が開催趣旨等を説明した。前半は女性3班、男性1班に分かれ①現在の職場環境の悩みや状況、取

「働きやすい職場」とは

女性技術者第2回サロン

女性社員らが意見交換

男性視点でも検討



当協会は12月13日、郡山市のビッグパレットふくしまで「女性技術者第2回技術サロン」を開き、会員企業の女性社員らから働きやすい職場を実現する上での課題、改善策を話し合った。

女性が活躍できる職場づくりを推進すること、県内電設業の職場環境の改善、意識改革につながるよう28年度から開始している。技術者事務職など女性社員12人が参加。今回は男性の視点からも課題等を探ろうと男性技術者4人が加わった。

所管する総務委員会の永井博委員が「建設業特に工事現場は女性が働くことを前提とした環境になつておらず待遇面でも男女間に格差がある。改善につなげるよう意見を出し合つてほしい」とあいさつした後、懇談会の

研修で学んだことを将来の職業選択に役立ててほしいとあいさつし、ものづくりの魅力や伝えたい。作田理事が社会人としてのマナーを講義し、太田一洋福島電気工事施工管理技士会長がKY活動の実践などについて安全教育を行った。

研修で学んだことを将来の職業選択に役立ててほしいとあいさつし、ものづくりの魅力や伝えたい。作田理事が社会人としてのマナーを講義し、太田一洋福島電気工事施工管理技士会長がKY活動の実践などについて安全教育を行った。

電設業への理解深める

2年生12人が職場体験

福島支部は9月5日から7日までの3日間、県立二本松工業高校情報システム科2年生12人のインターンシップを受け入れた。生徒らは現場見学

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

一般 東北電気保安協会

福島事業本部 福島市矢矧町1-22 ☎(024)526-1311

福島事業所 福島市矢矧町1-22 ☎(024)526-2111

原町事業所 南相馬市原町区上渡佐原田432-1 ☎(0244)22-3568

郡山事業所 郡山市富田町福川原1 ☎(0248)932-6054

白河事業所 白河市十三原道上3-51 ☎(0248)22-6066

いわき事業所 いわき市好間町上好間字洞42-1 ☎(0246)36-1177

若松事業所 会津若松市町北町大字上荒久田字村北147 ☎(0242)32-3350

田島事業所 南会津郡南会津町田島字南下原66-1 ☎(0241)62-4847

技術と信頼を誇る

電気、機械の総合メーカー!!

DAIZEN

大全電機株式会社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL (022) 288-0701代 FAX (022) 288-0705

高品質で省エネ LEDランプはレディオック

LEDiOC

IWASAKI

岩崎電気株式会社 郡山営業所 〒963-8046 郡山市町東3-103 TEL:024(961)2292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

株式会社 トベ

宮城県岩沼市押分字南谷地86-5
TEL(0223)25-6701

■福島営業所/福島市瀬上町字桜町3-12-3 ☎(024)553-8551(代)

■福島西営業所/福島市大森字街道下57-1 ☎(024)544-6228(代)

■郡山営業所/郡山市安積4-277 ☎(024)937-2462(代)

■原町営業所/南相馬市原町区北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106(代)

■相馬営業所/相馬市椎木字北原104-1 ☎(0244)35-6350(代)

■いわき営業所/いわき市鹿島町御代字大一田1-1 ☎(0246)76-1055(代)

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北支社

福島支店
福島営業所 TEL (024) 553-4165
郡山営業所 TEL (024) 934-3065
いわき営業所 TEL (0246) 75-0700
楮葉営業所 TEL (0240) 23-6155

一賛助会員募集一

(一社)福島県電設業協会は、顧客に高性能・高品質・高効率な設備のトータルシステムを適正価格で提供することで新しいニーズを掘り起こします。

【賛助会員の特典】

- 機関紙をはじめ各種広報資料をお送りします
- 毎年発行する「会員名簿」に社名を記載します
- 名刺等の肩書きに賛助会員の表示ができます

※詳しくはホームページをご覧ください

29年度県営設備担当職員との意見交換会
協会からの主な質問に対する県の回答

設計		
Q1	改修工事の設計段階で、屋外に取り付ける盤等の仕上げ色を、既存外壁色と合わせるか単独色にするか明記してほしい	A1 施工段階において、建築物との調和に関して検討すべき事項であり、監督員と協議により決定してほしい
Q2	電気設備の設計図で整合性が取れてなく確認事項が多くなるので、設計図のある程度の把握をしてほしい	A2 設計作業の最終段階で、設計図、数量内訳書、バックデータを突合し整合性を確認している
Q3	公表金額が案件によっては、設定金額が低く現実にそぐわない場合がある	A3 公表金額は、メーカー等から見積を取集し、ヒアリング等の実施により価格を設定している
Q4	同じ敷地内に発注者が異なる複数の現場があり、景観を考慮し施工段階で、照明器具を変更することがあった。事前に関係者が打ち合わせを行い、相違が無いようにしてほしい	A4 設計段階で隣接する現場と調整を行うための打合せ等を行い、調和を図っているが、工事着手後に同様のケースが確認された場合は、打合せの実施について監督員と協議してほしい
Q5	外部やピット内の電線管やケーブルラックの支持材は特記仕様書でステンレスが多いが、協議により溶融亜鉛メッキやスーパーダイヤ製を使用することがある。加工のしやすさや、電蝕の恐れ観点から、最初から使えるよう考慮してほしい	A5 製品の品質等を調査し、標準化の必要性について検討する
Q6	発注工事の設計図書は、発注者側で事前にどのような精査作業を行っているのか	A6 事前に現地調査を徹底している
Q7	工事着手前に発注者、受注者、設計事務所等が参加し、設計図と現場の整合性の確認、設計意図の伝達を行ってほしい	A7 必要があれば関係者に要請を行い、協力を得た後に対応する
Q8	設計変更の手続きを教えてください(受注者が変更図、内訳を作成し、生データを監督員に提出するのか)	A8 「建築関係工事請負契約における設計変更ガイドライン」P13設計変更手続きフローを参照。設計変更に係る設計図書の変更作業は発注者の責務で実施するもの。なお変更数量の把握について協力をお願いする場合があります
Q9	数量表に耐震金物の数量を見込んでほしい	A9 「建築関係工事積算基準」により別途計上している
Q10	有価物処理でマイナス計上されているが、少量で少額の場合も必ず有価物処理を行うのか	A10 設計で指定している場合は少量でも行うことが原則となるが、事情により困難な場合は監督員と協議してほしい
Q11	改修工事等で必ず撤去工事が発生するが、設計図と現地状況とで差がある場合がある。どの程度差異が生じたら設計変更の対象になるか	A11 「建築関係工事請負契約における設計変更ガイドライン」P10設計変更に関するケースを参照してほしい
Q12	特記仕様書の雷保護設備に「設計図に基づく保護設備で保護できない場合や、既設建物に機器を設置した場合の雷対策を確認し、必要な場合は協議すること」と記載されているが①雷保護が必要な場合は設計図に盛り込んでほしい②設計段階で確認できない場合があればどんな時か?	A12 ①必要な雷保護設備は特記仕様書等へ盛り込む②設計で確認できないという場合は仕様書に「設置される機器が必ずしも設計で選定したものと異なる可能性があるため、施工図により保護範囲が確保されているか検証してほしい。保護できない結果となった場合は監督員と協議してほしい」というもの
監督業務		
Q13	検査対策として、工事着手時にチェックリストを準備し、必要な監理書類・管理内容等を施工中都度、必要なもの・不足のものは提出するように指示してほしい	A13 「工事書類チェックリスト」(県HP管理課)を公表しているため、本様式により提出書類等を監督員と協議してほしい
Q14	工事の進捗に合わせ立会検査をお願いしているが、監督員の都合がつかない場合が多い。工事主要項目の検査は、代理を立てるなどの立会対応をお願いしたい	A14 立会検査は、副監督員や監督員の上司の立会いも可能であり、監督員と協議してほしい。なお、県工事請負契約約款第14条で「監督員は立会い請求を受けた日から「7日以内」に応じなければならない」と定めており、余裕を持った立会い請求をお願いしたい
Q15	変更契約は速やかに行ってほしい	A15 ワンデイレスポンス等により速やかな対応に努めている
Q16	情報共有システム(ASP)は今後、導入するのか	A16 建築工事への導入は未定
その他		
Q17	電子閲覧を未実施な出先機関で、せめて設計書・図面等をCDの配布してほしい	A17 関係部所へ伝達する
Q18	工事写真において、JIS製品・照明・配線器具等の資材搬入写真の撮影は必要なのか	A18 「建築・設備工事写真真準」(県HP技術管理課)に基づき、現場に搬入された現物の規格、仕様、数量等を写真により記録する必要がある
Q19	入札時の積算用公表内訳書が電子の場合、PDFで公表されているが、PDF形式を文字形式で読み取り可能なテキスト形式にしてほしい	A19 入札事務誤作業防止のため、検算済設計書をスキャンしたPDF形式で公表している場合もあるが、テキスト形式での公表を順次拡大している(技術管理課から回答)
Q20	建築工事の都合などで工期延長になった場合、現場代理人・監理技術者等の配置ができず入札に大きな影響がでることがある。工期延長の理由が電気に無い場合は緩和措置等があってもいいのではないのか	A20 建築工事の工期延長においても、電気設備工事に影響がない場合は、当初工期で対応している。しかし、建築工事の延長により電気設備工事等にも影響がある場合は、県工事請負契約約款第2条で関連工事との調整に関する規定があるので確認してほしい

働くことの大切さ実感

県立二本松工業高校 遠藤 雅也



私は、今回行われたインターンシップで、電設業界協会にお世話になりました。私は、電気関係の会社への就職を希望して、今回電気工事会社の職場を見てみたいと思、電設業協会を選びました。

インターンシップの初日、ビデオなどで、電気工事士としての注意することや、社会人としてのコミュニケーションをどうとらえれば良いかなど、色々なことを学びました。現場では同じく電気が関係している人達とコミュニケーションを大切にしなければならぬ、電気工事士としてのスキルだけでなく、人とコミュニケーションをとることも必要であるという

福島支部インターンシップ感想文

私は、エレキトリックコースを選択しているの



県立二本松工業高校 森川 珠莉

電設業協会にお世話になりました。

私は3日間の職場体験で、今まで電気の授業や電気関係の仕事があまり興味なかったのですが、現場見学や会社の方々のお話を聞いたり、楽しそうに仕事をしている現場の方たちをみて、電気に興味をもつことができました。

自分で見た社会

県立二本松工業高校 森川 珠莉

電気工事の仕事は上関係が厳しそうないメージをもっていたのですが、実際に現場に行ってみると先輩、後輩の礼儀などはしっかり守りつつ、とても仲が良く雰囲気も良くイメージがかわりました。

働くということは仕事ができる、できないも大切ですが、何よりもコミュニケーションが大事だと高校に入ってから耳にしていきました。インターンシップでもやはりコミュニケーションが大切という話を会社の方から聞きました。

人に役立つ仕事を

県立二本松工業高校 尾崎 優太



今回私は、電設業協会の会社の方々の所で3日間、会社の見学などをさせていただきました。

私は、まだ将来の目的

は、普段教えられていることや聞いていることを自分自身で感じることができ、残りの高校生活で頑張るべき課題をみつけれることができ、良いものとなりました。

そこで今回の職場体験

場を実際に見学させていただけたいイメージが大きく変わりました。細かい配線だけでなく重機を使った大きな作業など、いろいろな仕事があることが分かりました。

そして、見学先の会社の方々が言っていた「トネル工事などの大きい仕事は作業がたいへんだけれど作り終わった後の達成感がスゴイ」と言っていたことがとてもよく心に残っています。私も将来会社に入社した時に、今回見学をさせてくださった会社の方々のような達成感を味わってみたいと思えました。

そして、インターンシップ後、私は父の引越

しを手伝いに山形に行きました。その時に通った道が今回のインターンシップの時に歩かせていただいた工事中だったトネルでした。自分が歩いた作りがけのトネルや道路が今では多くの人々が利用するとても便利な道になっているのだと感動しました。

これらの体験を経て私は、多くの人々の役にたてるような大きな仕事をしてみたいと思えました。そこで今のうちにたくさん勉強をし、今後の自分の未来のためにがんばっていきたく思いました。

